

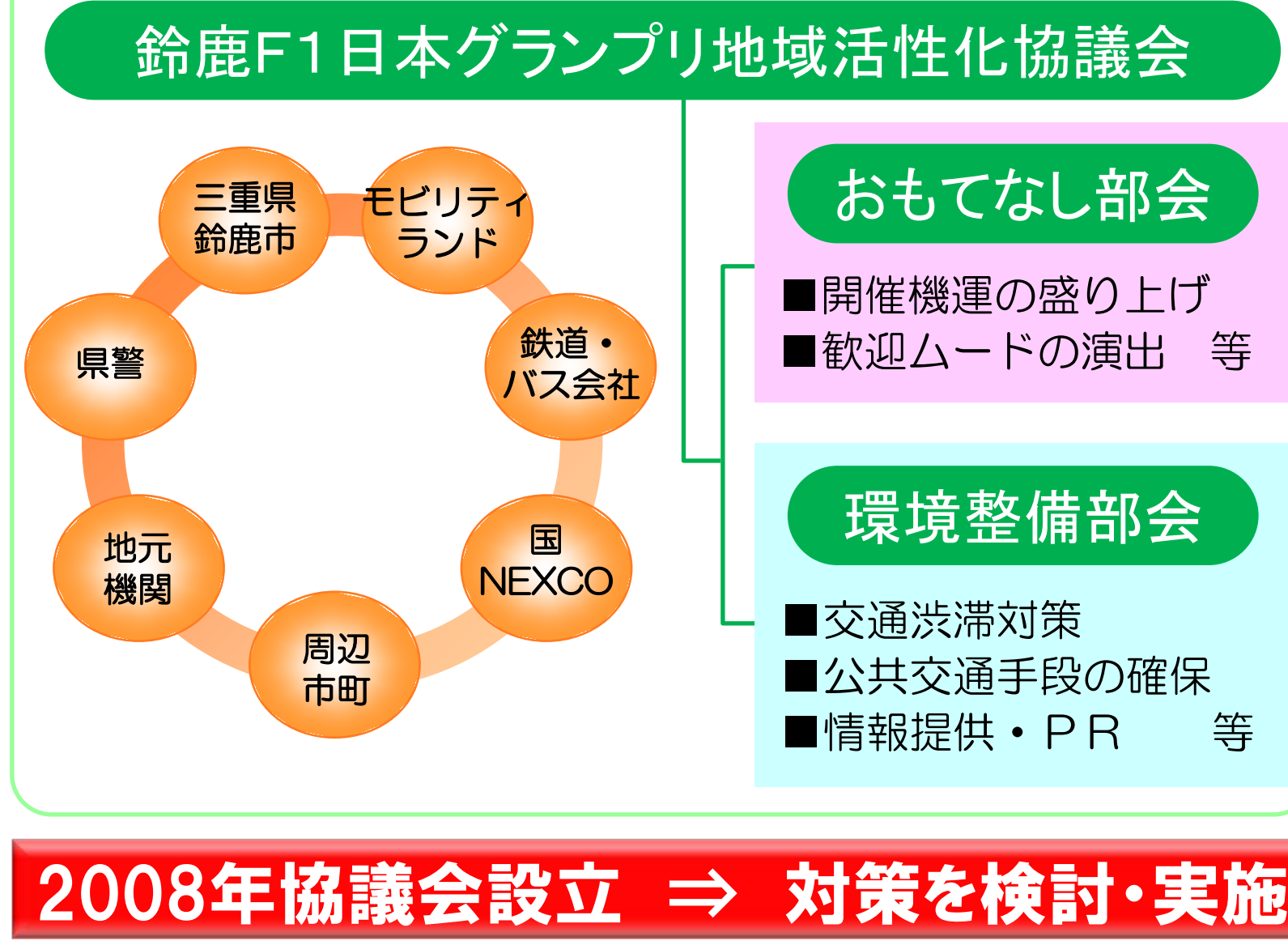
1.はじめに



◇鈴鹿サーキットでF1日本グランプリが開催される際の様々な交通課題の解消に向けて「鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会」が2008年に設立



- 【開催時の主な交通課題】
① 交通渋滞（特定経路への交通集中）
② 鈴鹿ICへの交通集中
③ F1来訪交通と地域交通の混在
④ 駐車場不足、迷走車両の発生
⑤ 鈴鹿サーキット付近の歩行者と車の交差
⑥ 鉄道駅の混雑
⑦ バス等公共交通の利便性低下
⑧ レース終了後の帰宅交通の集中



2.対策実施と効果

- ◇2009年から公共交通・自動車交通向けの様々な交通円滑化施策を実施
◇効果や実施状況をもとに改良・新規施策の立ち上げを行い、F1開催時の交通円滑化を継続して実施

【これまでに実施した主な施策と2018年の実施予定】

Table with columns for measures (e.g., public transport, shuttle routes, traffic signs) and years from 2009 to 2018, indicating implementation status.

2009年から改良・追加を行い継続して実施、今年で10年目

【来場者数および期間分担の推移】 3日間で10万人以上が来場

Table showing visitor numbers and mode share (public transport, car, etc.) from 2006 to 2017.

公共交通の利便性向上やリアルタイムな情報提供を実施

Collage of images and text boxes detailing public transport improvements like shuttle routes, app-based information (AcPro), and social media updates.

公共交通もスムーズに運行



市内の交通状況が改善

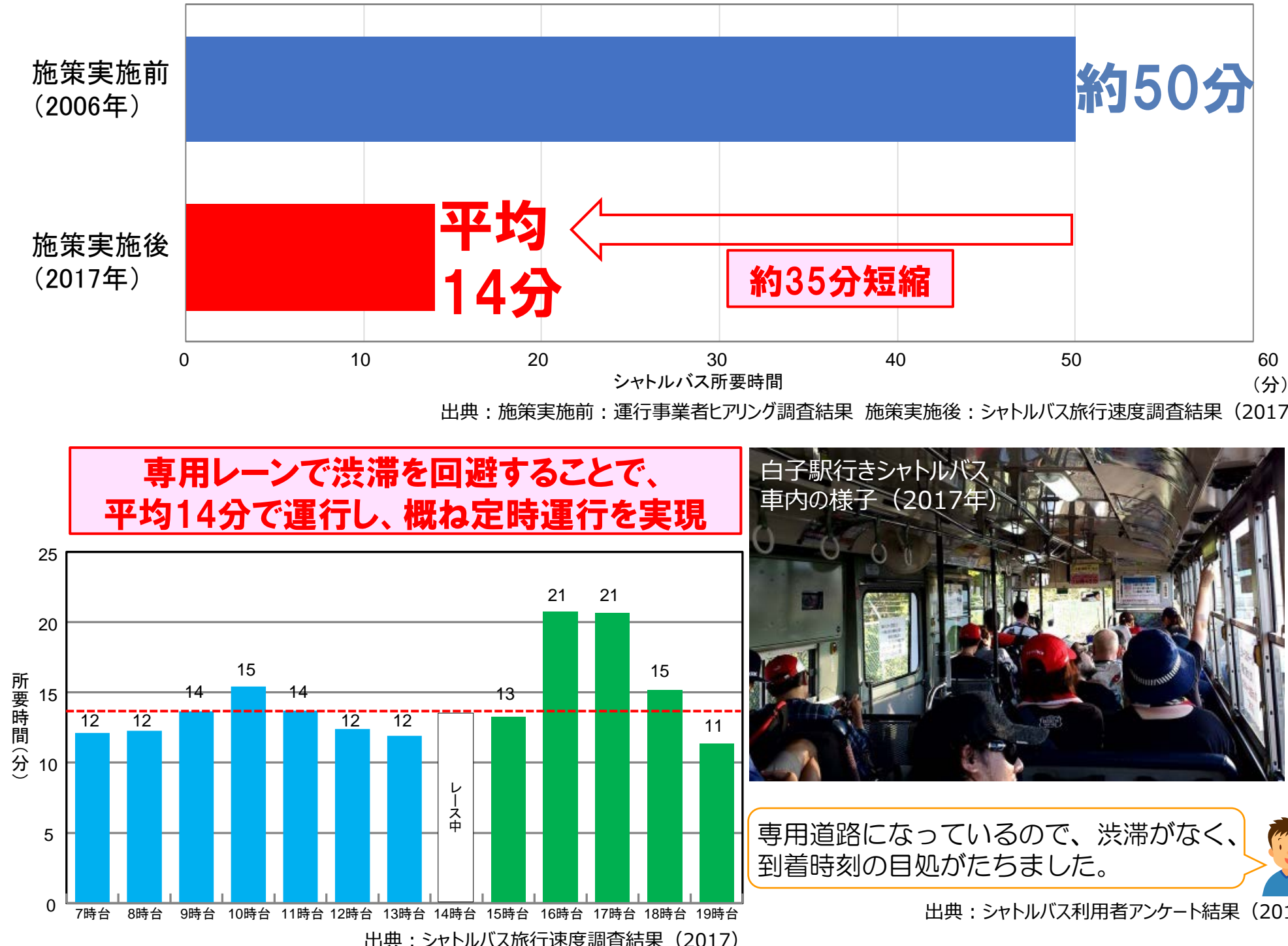


- ◇協議会で掲げた全体目標「鈴鹿周辺の渋滞解消時間の低減」は概ね達成
◇観戦者向けの各種情報提供により、最も渋滞が激しい決勝レース帰宅時におけるルート分散・時間分散の効果が発現

【交通円滑化の目標および達成状況】

Table showing progress on goals like reducing congestion time and increasing public transport mode share from 2006 to 2018.

シャトルバスの所要時間が短縮、定時運行が実現



リアルタイムな情報提供によりルート分散・時間分散

Diagram and text explaining how real-time app information (AcPro) helps with route dispersion and time dispersion.

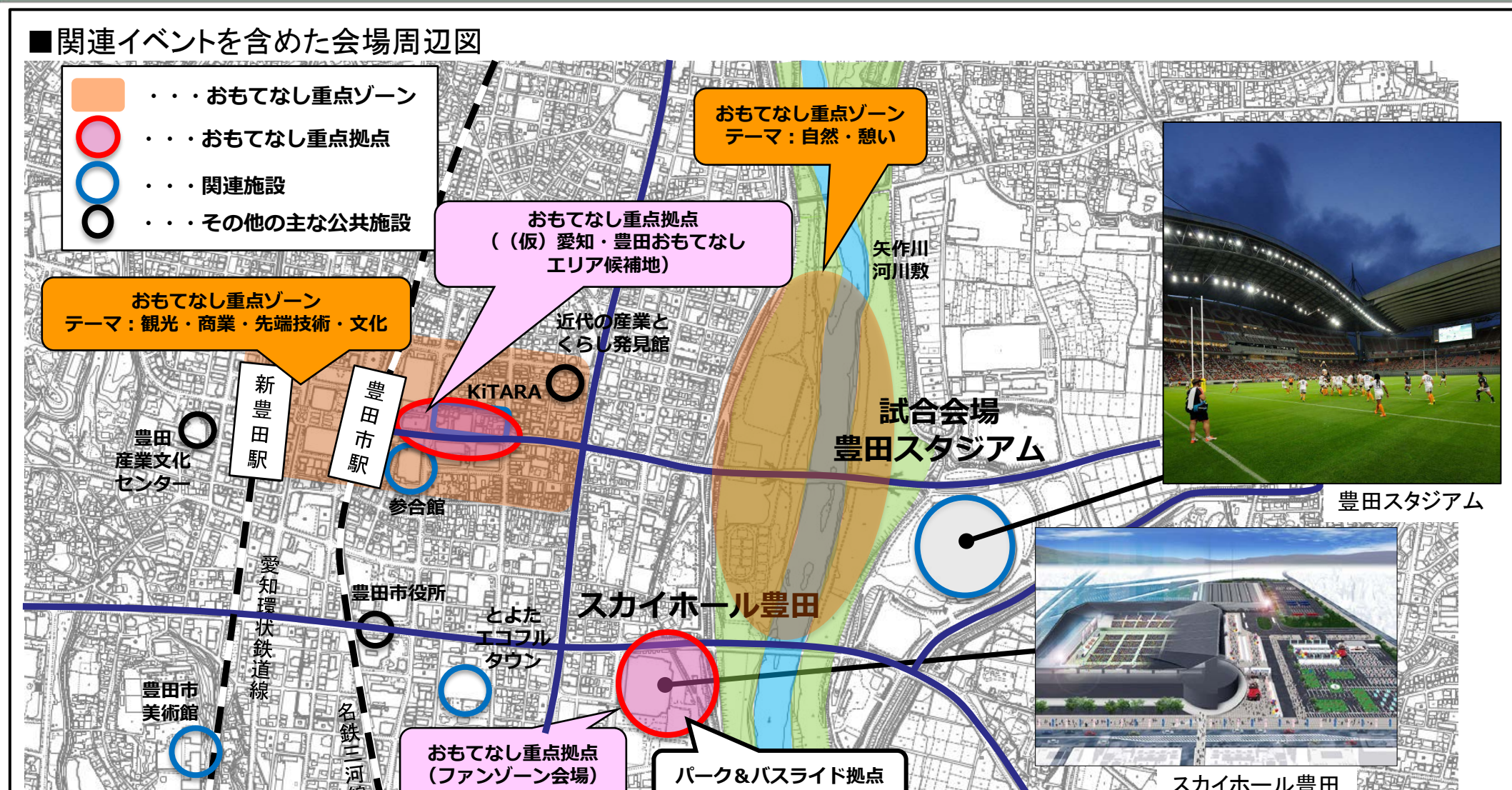
〈トピックス〉ラグビーワールドカップ2019の開催に向けた豊田スタジアムにおけるTDM施策について

ラグビーW杯2019の内4試合を豊田スタジアムで実施



Match schedule for the Rugby World Cup 2019 at Toyota Stadium, listing dates and opponents.

ビックデータを活用した調査分析に基づく時間分散・交通手段変更を主眼においたTDM施策を展開予定



- 事前情報・予測情報・リアルタイム情報などによる交通手段変更
○まちなか滞留などによる時間分散

